



創立100周年記念事業実行委員会通信第5号

# 岩高同窓会報

岩村田高等学校同窓会  
発行人 中沢朝幸  
編集人 小林貴幸  
佐久市岩村田1248-1  
岩村田高等学校同窓会館内  
TEL 0267-78-3797  
印刷 恵企画  
題字は旧中第21回卒 上嶋桂氏

## ご挨拶

同窓会長 中沢朝幸(高24回)



同窓会員の皆様には日頃より同窓会活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

又、創立100周年記念事業実施に際しましては物心両面でお支えいただき、心より感謝申し上げます。

昨年6月の同窓会総会に於きまして同窓会長を拝命しました中沢でございます。唯々責任の重さに身の引き締まる思いであります。

岩村田西本町(駅通り)に生まれ、1972年秋に東京から実家に戻り、家業の印刷業や諸活動を通して岩高の先

輩方には公私共にご指導いただき、社会人としての有り様や利他の精神をご教示いただきました。

曾祖父の菊太郎が岩村田中学校設立に関わった関係で父と3人の叔母、娘、そして私と弟は野球部でお世話になりました。

創立100周年記念事業も終わり次の110年、又120年に繋げていく為にも活性化が必要と考え、先ず今後予想される第3次高校再編等への対応を研究する「岩村田高校を発展させる会」を設置し、

①県立高校再編状況の把握及び分析。  
②高校再編に伴う社会情勢の変化に対応する岩高の方向性について研究。

③総会、役員会等への報告及び学習会・視察等の企画立

### 案。

を行っております。3頁にも発展させる会の詳細を具体的に載せております。報告内容につきましては岩高同窓会HPをご覧ください。

令和11年に開校予定の野沢北と南高両校で統合される佐久新高では普通科が8学級で新設予定ですが、令和11年迄には小諸・佐久・南北佐久地域では中学卒業予定者が今年より54人減の予測もござい

ます。岩高は5学級のままで進学や部活においても埋没してしまう懸念もあり、今

回は岩高として存続しなくてはなりません。今回6月20日に開催されます定期総会では今まで以上に危機感を持ち、「岩村田高校を発展させる会」より報告し



★岩高同窓会の情報は、ホームページから ZOKUZOKU発信★

置や、取り巻く状況を検証して「選ばれる岩高」を目指し一致協力して岩高を支える機会とさせていただけます。

### ●同窓会活動協力金のお願い

同窓会活動の原資は入学生と卒業生から合わせて14、000円の納入金と同窓会活動協力金ですが、近年、諸費用の高騰により現状を維持する事が困難となつてきております。(昨年度は平成19年4月を最後に活動が終了した旧岩村田支部より40万円余が戻りましたので黒字会計でした)今回、他校並みに一口二万円以上の協力金をお願いを同封させていただきます。

何卒、趣旨をご理解いただきましてご支援の程お願い申し上げます。

## 東都岩高会総会 & 懇親会

- 令和8年6月21日(日)  
11:15 受付開始  
11:30 開会
  - 場所: グレースバリ銀座店  
中央区銀座6-13-16  
銀座パセラリゾーツB3F  
TEL03-6747-9939
  - 会費: 8000円 学生(専門学校、予備校含む)は無料。  
学生は下記のお問い合わせ先へ。(6/10迄)  
会費は当日受付でお支払い下さい。
  - 総会: 2025年・2026年の報告・承認・審議
  - 懇親会: 幅広い年齢の多様な同窓生が集まります。懐かしい友人や教職員との再会や、新たな繋がりへの巡り合いや、勉学・仕事・ときめきの出会いがあります。
- お問合せ等  
tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp  
田中 090-7171-8441  
小林 080-7021-3097

## 第56回岩高同窓生作品展ご案内

同窓生作品展はOBの皆さんと在校生との交流の場です。この機会に今の母校の様子をご覧ください。また事業部員の皆さんは事業部担当の定例企画ですので、準備・展示中、片付けのご参加をお願いします。

- 開催期間: 7月4日(土)13:00~15:30  
5日(日)10:00~15:30

- 会場: 岩村田高校本館2F
- 募集作品: 絵画・書道・写真・工芸・彫刻など、全ての分野の創作作品

●応募締切: 6月26日(金)

●搬入日: 7月3日(金)  
直接会場へ搬入・展示作業。遠隔地から送られる場合は同窓会事務局宛で学校へお送りください。



## 定期総会のご案内

令和8年度の定期総会を下記のとおり開催します。多くの同窓生のご参加お待ちしております。

- 日時: 6月20日(土)
- 場所: 岩高大講義室
- 受付: 14:40~ 岩高会館
- セレモニー: 15:00~  
音楽室にて吹奏楽班の演奏
- 総会: 15:30~
- 意見交換会  
テーマ: 高校再編と岩村田高校  
発表: 岩村田高校を発展させる会
- 懇親会(かつ楽): 18:00~  
会費: 7,000円
- 総会の詳細は後日HPに掲載します。

# ご挨拶



学校長 奥原 靖彦

同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に対し、深いご理解とご関心をお寄せいただき、また温かいご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。本年4月1日付で岩村田高校に着任いたしました奥原と申します。佐久地区での勤務は初めてとなりますが、浅間山や八ヶ岳連峰に囲まれた広大な佐久平の恵まれた自然環境に心が洗われ、何よりも、素直で明るく、元氣な挨拶を交わしてく

れる岩高生の姿に深い感動を覚えています。本校建学の精神である「社会に信頼に足る人物たれ」という教えが、今なお脈々と受け継がれていることを日々実感しております。現在、本校は社会とのつながりを大切にしながら、次の百年に向けて新たな伝統を積み重ねていくところであります。昨年度の班活動においては、個人・団体それぞれで活躍が見られました。運動班では女子バスケット、陸上、水泳が北信越に、男子ソフトテニスが全国大会に出場を果たしました。文化班では演劇班が関東大会に出場し、美術班は本年度の全国総合文化祭への出場を果たしております。班活

動以外においても、少林寺拳法、ボクシングなどの分野で、北信越や全国大会レベルで活躍する生徒もおりました。現在、県立高校では、一人ひとりの「学びたい」を叶えるため、各校の特色化を進めております。進路の実現、技術・能力の習得、地域での学び、個性や多様性の尊重などの教育的な観点から魅力づくりが求められています。本校では「信頼に足る人物たれ」をキャッチコピーとし、きめ細かな進路指導に加え、「天下一品講座」「德育会」など、同窓生とのつながりを生かした取組を特色として打ち出しております。一方、生徒は生徒会活動や探究学習を通して学校や地域の活性化に取り組んでいること、多くの生徒が班活動に加入し学習との両立

を図っていることを挙げ、「学びたい学びを」とことん追求できる学校」として、生徒とともに岩高の特色を発信しています。創立百周年を経て、同窓生と在校生とのつながりは一層深まりました。社会や地域と結び付いた学びを通して、日々の教科学習の意義を見だし、多様な考えを尊重する態度を身に付けるためには、外部の方々と関わりながら学ぶ機会が不可欠で、生徒にとって貴重な学びの場となっています。今後、同窓生の皆様には、本校生徒の様々な活動にご注目いただき、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 3年間の教育活動へのお礼

前学校長 下島 浩伸



3年前の岩村田高校でのスタートを振り返ると、新型コロナウイルスの感染予防に伴う規制や熱中症への対策が求められる中、感染の広がりに

よる学級閉鎖や大会、クラブ活動等の縮小や中止も稀有のことではありませんでした。600人規模の全校生徒が会する生徒総会や文化祭などの学校行事にしても、先生方と対策を含めて意見交換を重ねました。高校生の時でなければ経験できない仲間との思い出づくりや、協同して物事

に取り組む大切さ、達成感などは十分理解しつつも、安全面や他校も含めた地域の状況などから意見がまとまらない事もありました。その中、多くの事前準備と期間を要する100周年の記念事業を同窓会関係者の皆様を中心に在校生が主体的に参加する形で進めていただいたことに改めて感謝申し上げます。私にとつての岩高での3年間

は機械、電気科の設置や学

### 同窓会ニュース

岩高同窓生「慶事・表彰」一覧

ご慶事誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。(事務局にお知らせのあった方)

瑞宝双光章受章(令和7年11月)

森山

修氏(高8回)

旭日双光章受章(令和8年4月)

中條

壽一氏(高14回)

### 同窓会活動協力金ありがとうございます

令和7年4月1日から令和8年2月1日までに306名の方に1,027,162円 いただきました。

一口1,000円以上の皆様からの浄財は岩村田高校約600名の在校生の学習活動、班活、校内の施設設備など、県の予算でカバーできないあらゆる教育活動にたいへん役立ちます。毎年できるだけ多くのOBの皆さんからの「母校への応援」という趣旨で任意の協力金という体制をとっています。同窓会報に添付の専用振込用紙をお使いになり年間を通して額の多少に関わらず協力していただければ在校生の励みと力になりますのでご理解いただきよろしくお願います。

### 第56回 同窓生作品展出品要項

6月26日(金)までに岩高同窓会事業部鈴木までFAXでお送りください。(FAX番号:0267-68-9382)

#### 第56回同窓生作品展記載事項

- 1、氏名・卒業年と卒業回  
(例) 岩高 太郎 (昭和48年卒、高25回)
- 2、住所・電話番号
- 3、作品種類 (絵画・書道・写真・工芸・彫刻他)
- 4、作品名
- 5、サイズ 縦 cm、横 cm

◎額装には必ず吊り用金具と紐を付けてください。  
◎裏面に題名・卒業年・住所・氏名を記入した用紙を貼付してください。

#### (今後の日程)

- 1、作品搬入日時と場所：7月3日(金) 12:00~13:30 岩村田高校本館2階
- 2、作品搬出・片付け：7月5日(日)15:30より

# 岩村田高校を発展させる会

副委員長 吉川 友子 (高42回)

一昨年度は、岩村田高校創立100周年記念事業において、生徒・PTAの皆さま、職員の皆さま、同窓会の皆さまに多大なるご協力を賜り、無事大きな節目を迎えることができ、同窓会の一員として嬉しく思うとともに、深い安堵を覚えております。

さて、100周年という節目を超えた今、岩村田高校がこれからのような方向を目指していくのか、また地域や社会の変化の中でどのような人材が求められるのかについて、同窓会の中でも考える機会が増えてまいりました。こうした背景のもと、長野県において進められている第2期高校再編の動向を踏まえながら、岩村田高校の将来を見据え、その魅力をいかに維持、発展させていくかを検討することを目的として、本会「岩村田高校を発展させる会」が設立されました。

近年、高校を取り巻く環境は大きく変化しています。授業料の実質無償化や少子化の進行により、生徒の進路選択にも変化が生じています。さらに、長野県による高校再編によって地域内の学校配置や役割が見直される中で、各校にはこれまで以上に特色ある教育の確立が求められています。

特に東信地区においては、小諸義塾高校の開校や佐久新校の設置など、再編が県内で最も早く具体化しており、今後の進学動向や学校間の関係性に少なからず影響を及ぼすことが予想されます。こうした状況を踏まえ、岩村田高校が地域の中でどのような役割を担い、どのような魅力を発信していくのかについて検討し、情報交換をしていく必要があるとの認識が、本会設立の出発点です。

本会は少人数の委員により構成され、情報収集と共有を基盤としながら活動を進めています。これまでに複数回の委員会を開催し、県教育委員会の発表資料や各地域の再編動向、入試状況などをもとに議論を重ねてきました。また、同窓生の皆さまへ情報を届けるため、「委員会通信」を発行し、継続的な情報発信を行なっていますので、同窓会ホームページよりご覧いただければ幸いです。

これまでの活動において重視してきたことは、「現状を知る」と「変化の兆しを早期に捉えること」です。高校再編に関する公式情報だけでなく、入試志願者の動向や地域の保護者・教育関係者の声など、日常の中にある情報も重要な手がかりとなります。こうした多面的な情報を積み重ねることで、将来の変化を見通すための基盤づくりを目指しています。

また、教育内容そのものの変化にも注目しています。大人数の講義や職業紹介、各分野で活躍する卒業生による体験談の共有などは、生徒にとって将来を考える具体的な手がかりとなります。また、

まっています。新設される高校の多くが探究を教育の柱として掲げていることから、この流れは今後さらに加速すると考えられます。岩村田高校においても、こうした教育の方向性を踏まえた魅力づくりが求められていると考えられます。

さらに、公立中学校の部活動地域展開に見られるように、生徒を取り巻く環境が大きく変化しています。少子化により従来の学校単位での活動が難しくなる中、地域と連携した仕組みづくりが求められており、教育は学校の枠を超えて広がりつつあります。こうした動きは、義務教育のみならず高校の在り方にも影響を及ぼすものと考えられます。

本会では、これらの状況を踏まえ、同窓会としてどのような支援が可能かについても検討を進めています。例えば、同窓生の経験や専門性を活かした人的支援は、母校の教育活動を支える大きな力になると考えています。進路選択に関する講話や職業紹介、各分野で活躍する卒業生による体験談の共有などは、生徒にとって将来を考える具体的な手がかりとなります。また、

近年重視されている「探究的な学び」においても、地域課題や社会課題に取り組みを行うことで、学びの質を高めることが期待されます。このように、学校と社会をつなぐ役割を同窓会が担うことは、今後ますます重要になっていくものと考えられます。

また、高校再編は、対象校だけでなく、地域全体の教育環境に影響を及ぼす大きな転換点です。岩村田高校は対象校ではありませんが、その影響を受けることは避けられません。過去にも制度変更を契機として学校の位置付けが短期間で大きく変化した例があることを踏まえ、現状に安住することなく、将来を見据えた備えが必要であると考えています。

本会は、こうした認識のもと、同窓会、学校、地域をつなぐ役割を担いながら、母校の発展に資する取り組みをしてまいります。今後はより多くの同窓生の皆さまに関心をもち、行動によって形づくられていきます。引き続き、本会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

幸いにも、6月20日に開催される同窓会総会講演会において「岩村田高校を発展させる会」から上述の諸課題について報告・提案させていただきます。大勢の皆さまにご参加いただき、多角的視点から意見交換できることを楽しみにしています。

岩村田高校の未来は、在校生や職員の皆さまのみならず、私たち同窓生一人ひとりの思いと行動によって形づくられていきます。引き続き、本会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、同窓会、学校、地域をつなぐ役割を担いながら、母校の発展に資する取り組みをしてまいります。今後はより多くの同窓生の皆さまに関心をもち、行動によって形づくられていきます。引き続き、本会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、同窓会、学校、地域をつなぐ役割を担いながら、母校の発展に資する取り組みをしてまいります。今後はより多くの同窓生の皆さまに関心をもち、行動によって形づくられていきます。引き続き、本会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開校予定	校名・学級数(予定)	統合対象校
2026年4月(R.8年)	小諸義塾高校 7学級	小諸高校・小諸商業高校
2028年4月(R.10年)	伊那高校 8学級	伊那北高校・伊那弥生ヶ丘高校
2029年4月(R.11年)	佐久新校(仮称) 8学級	野沢北高校・野沢南高校
2029年4月(R.11年)	須坂翔陽高校 7学級	須坂創成高校・須坂東高校
2030年4月(R.12年)	赤穂総合学科新校(仮称) 総合学科5~7学級	赤穂高校
2031年4月(R.13年)	中野総合学科新校(仮称) 総合学科7~8学級	中野立志館高校・中野西高校
2033年4月(R.15年)	塩尻総合学科新校(仮称)6学級	塩尻志学館高校・田川高校

卒業生シリーズ ②⑥

分岐点



神津 長生 (高29回)

顧みるに、私の高校生活の始まりは決して志の高いものではありませんでした。当時の進路指導は、個人の適性や興味は二の次。定期試験の点数による「輪切り」で進学先が振り分けられるのが常であり、私自身も未熟さゆえに、自分は何者なのか、どこに向かうべきなのかという展望も描けぬまま、あてもなく岩高の門をくぐりました。当然、成績は振るいません。今は亡き父が、多少の期待を込めてか、初めての保護者懇談会へ出かけたものの、帰宅するなり「もう二度とお前の懇談会には行かない」とひどく叱られたことも、今となつては懐かしい思い出です。



握つて自在に化学式を操るT先生の姿に、私は強烈な格好良さで憧れを抱きました。たとえば、アルコールがアセトアルデヒドを経て酢酸へと変化するように、炭素(C)の骨格は不変でありながら、水素(H)や酸素(O)という小さな元素の位置や組み合わせ一つで、その性質は薬にも毒にも変わります。化学式が描き出す足し算、引き算のよきな単純明快な見事さ・美しさに、私は初めて学問の面白さを知りました。「あの先生のように、白衣を着た理科教員になりたい」：迷走していた自分自身の未来予想図が、少しずつ確かな輪郭を持ち始めた三年間となりました。

その後、私は念願の理科教員となり、長野県内の小中学校で40余年の教員生活を終えることができました。理科の授業にはいつも、憧れだった白衣で臨みました。実験で少し焦げたり汚れたりした白衣でしたが、それが少しの私の誇りであり愛着を持つて袖を通し続けました。子どもたちにどれだけ理科の真髄を伝えられたかは分かりませんが、T先生や化学との出会いが、私の生業を決めた原点であったことは疑いようもありません。

定年を間近に控えた頃、不思議なご縁がありました。現役最後の赴任先は、県内で21年ぶりに新設された佐久平浅間小学校でした。着任して間もなくT先生から突然の電話をいただいたのです。「新しい学校の池に」と、バケツいっぱいのお鮎をもつてきてくださったT先生は、あの頃と変わらぬ笑顔で顔を浮かべておられました。わずかな時間でしたが時を超えて私を高校時代に戻していただいた最高の贈り物となりました。自分は何者なのか、どこへ向かうのか：迷いに満ちた青年期の自分に、人生を方向付けてくれたかけがえのない高校時代の3年間と恩師に心からの感謝を捧げます。

神津武士元佐久市長を偲んで

依田 美恵子 (高21回)



1年生対象「先輩おおいに語る」

武士氏は平成25年の同窓会報卒業生シリーズに「在校生に贈る『いろは考』」を寄稿し、古今東西のことわざで、古今不易の言葉を人生の指針として贈られました。記憶されている方も多いでしょう。

平成29年7月野球班が長野大会でベスト4に進出した時、新海節生校長から「生徒を応援に送るバス代が無い」と同窓会への要請で急遽寄付金集めに奔走しました。こんなことはなかなかないことだからと、皆さん気持ちよく協力してくれましたが、何といつても時間がなく、最後に神津武士さんを頼りました。奉加帳に目を通された後、サラサラと書き込まれたのは驚くような金額でした。

100周年の折にも、氏にほどなたよりも多い金額を寄付いただきました。

令和6年度同窓会定期総会での講演は「生かされし98年を顧みる」でした。中学卒業後昭和22年3月まで代用教員をしておられました。終戦を迎え、考えるところがあつて21年8月永平寺で1ヶ月修行され、その中の禅問答で「祈りの対象が『母親』に至ったそうです。「祈り」の対象はなんでもいいが、人は祈ると謙虚になるのだと語られました。このことは度々お聞きしましたから、神津さんの生き方の根本にあつたのでしょう。

1年生対象の「先輩おおいに語る」や、「天下一品講座」の講演は生徒にとっても好評でした。博学に裏付けられ洒脱なお話が生徒を引き付けたのでしよう。

このように神津さんには物心両面で母校に貢献いただきました。

18歳から書いていた80年分の日記と市長時代の備忘録は保管してあるそうです。信毎

佐久市長在位12年間の中で、北陸新幹線の誘致で佐久は通らずフルではなくミニ二でとなつた時、これを打ち破つたのは神津市長です。決起集会の市民の熱い思いに背を押され、ミニ二で行くという県知事に異を唱え、当時の大臣に土下座をして、結果現在のようになり佐久市の発展に大きく貢献されました。

令和7年12月17日、神津武士さんは黄泉の国に旅立たれました、享年98才。どうぞ安らかに眠りください。



令和6年度同窓会定期総会

# 同窓会、ゴルフ同好会

## 第6回ゴルフコンペを開催!

ゴルフ同好会事務局長 小林 貴幸 (高44回)

岩村田高校同窓会ゴルフ同好会の第6回ゴルフコンペは令和7年10月3日、佐久市協和の望月リソルゴルフクラブにおいて開催しました。

当日は36歳から88歳まで、地元はもちろんのこと東京や埼玉など県外からも、約100名の参加があり、プレーを通じ世代を超えて母校に対する絆を深めました。

競技終了後にクラブハウスで行った表彰式では、わが母校の校歌や学生歌「大浅岳」が流れる中、ゴルフ同好会の

寺島義幸会長 (高24回) より挨拶があり、宮森武久幹事長 (高11回) から経過報告が、また土屋充俊会計 (高34回) からは会計報告も行われました。

そして阿部誠副幹事長 (高30回) から成績発表がありました。特今回は米寿の方に2名ご参加をいただきました。

今秋、10月2日に開催予定の第7回コンペには、お誘い合わせの上より多くの同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### 岩高同窓会ゴルフ同好会

## 第7回 ゴルフコンペのご案内

日時: 令和8年(2026年)10月2日(金)  
8:00 集合 8:15 開会式 8:30 スタート  
会場: 望月リソルゴルフクラブ(旧望月東急GC)  
佐久市協和3597-27 電話0267-53-6006

- プレー費 7,800円 (昼食付)、参加費 3,000円
- 岩高出身の方でしたら、どなたでも1名様からご参加いただけます。
- ゴルフコンペ参加のお申し込み、お問い合わせなどは、ゴルフ同好会の事務局まで、なるべくFAXかメールでお願いします。
- ゴルフ同好会の名簿にすでに登録されている方には、8月頃にご案内通知や参加申込ハガキを送らせていただきますので、今から開催日程をご予定いただき、それまでお待ち下さい。

[ゴルフ同好会事務局]

電話 0267-66-7600 (留守電可)  
FAX 0267-66-7688  
E-Mail kobataka394@bridge.ocn.ne.jp

## 第17回 佐藤寅太郎賞

同窓会会則4条6「文武両道を実践し、模範となった生徒に対して卒業時に初代校長を記念し、佐藤寅太郎賞を授与する。」

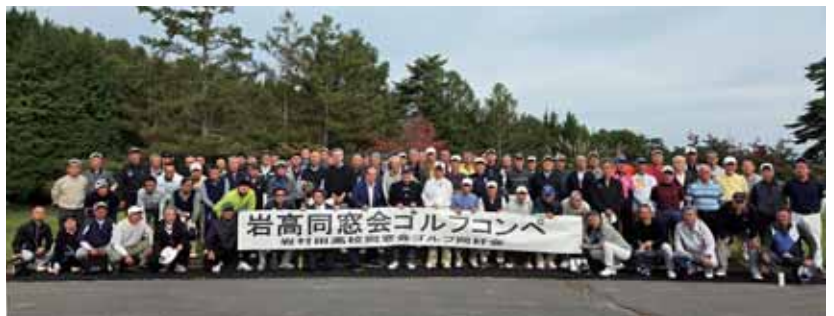
### ● 令和7年度 黒沢 和真

#### ◆ 活動実績

- ・ 全国都道府県対抗eスポーツ選手権 グランツーリスモ部門 U18の部 2023/2024/2025 長野県代表
- 2年時
  - ・ 『SeCR Super Formula Challenge 2024』(eスポーツでの国際レース) 優勝
  - ・ 再春館製菓のプロチーム『Saishunkan Sol 熊本』のメンバーに選ばれ、JAF認定のeモータースポーツ公式リーグ『NIZONE』参戦開始。年間チームランキング2位、年間個人ランキング3位
- 3年時
  - ・ Hondaのドライバー育成スクール『HRS 鈴鹿』奨学生として選出される



卒業後に大学で学びながらプロのレーシングドライバーとして活躍するという目標を持ち、カートレース、eモータースポーツの全国大会に積極的に参加し成果をあげている一方で、学業もおろそかにせず真摯に努力を続けた生徒です。



生徒会長としての責任を持ち、前へ進み続けながら、全校生徒の声に耳を傾けていきたいと思えます。一人ひとりが心地の良い学校をつくり、より良い学校づくりを目指して全力で取り組みます。みんなで協力しあつて生徒会を作り上げていきたいです。



生徒会長 佐々木優羽

## 生徒会

副会長として生徒会長を支え、生徒一人ひとりの声を大切にしながら、学校生活の向



生徒会副会長 中沢 創

今までの先輩から受け継いだ伝統を大切にしながら、これからの時代を見据えた行動ができる副会長として、岩村田高校を今よりもさらに良い学校にしていけるよう、全力を尽くしてまいります。



生徒会副会長 田中 紗姫



文化祭実行委員長として、心から楽しめる最高の文化祭をつくりたい。仲間と協力しながら全校の雰囲気盛り上げ、一人ひとりの思い出に深く残る、特別でかけがえのない時間になりたい。



岩高祭実行委員長 松本 奈桜

## 第63回岩高祭

7月4日(土)・5日(日)

上に向けた企画を主体的に行い、より良い学校づくりに責任をもって取り組みます。

令和7年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 4,536,041円 支出総額 3,914,863円 差引残額 621,178円  
 自 令和7年4月1日～至 令和8年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 中沢 朝幸

【収入】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越	321,114	321,114	0	
R7年度生入会金	1,970,000	1,960,000	-10,000	10,000円×196名分
R5年度入学生卒業時納入金	792,000	788,000	-4,000	4,000円×197名分
同窓会活動協力金	1,200,000	1,027,162	-172,838	306名の会員より(前年度より17名減) 今年度は積み立てせず
支部残金	0	400,140		岩村田支部より
預金利息		925	-925	普通預金利息
謝礼		5,000		内堀鉄郎様より
雑収入		33,700	33,700	名簿販売1名・3学年会計残金
計	4,283,114	4,536,041	252,927	
【支出】				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	1,000,000	681,559	318,441	内訳：進路室コピー機リース代83,204円、HP改修代19,360、100周年記念写真代59,200円、クラブ奨励金100,000円、天下一品講師謝礼55,000円、徳育会謝礼90,000円、作品展謝礼30,000円、複合機36,554円、寅太郎賞10,000円、額卒業フォルダー191,000円、電話代7,241円
広報費	2,500,000	2,569,250	-69,250	同窓会報印刷代396,550円、サラト名簿管理、発送代2,172,700円
総会費	100,000	69,030	30,970	総会費補助、謝礼
役員会費	250,000	212,600	37,400	会議費補助等
支部補助費	150,000	116,000	34,000	東都岩高会へ送金等
旅費	70,000	35,800	34,200	東都岩高会参加等
通信費	40,000	34,987	5,013	諸通知葉書代、切手代
事務費	5,000	6,137	-1,137	賞状、額等
慶弔費	10,000	34,000	-24,000	ご香典、生花代
渉外費	60,000	28,500	31,500	会長歓迎会費、職員饞別代
積立金	250,000	0	250,000	
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
教育研修費	40,000	0	40,000	
短期海外交流支援費	100,000	0	100,000	
雑費	5,000	0	5,000	
予備費	43,448	0	43,448	
誤入金	0	27,000	-27,000	100周年記念会計へ
計	4,723,448	3,914,863	808,585	

監査報告 令和8年3月26日、会計監査を実施した結果、証拠書類、預金通帳等、的確に処理されていることを確認いたしました。  
 監事 北山 浩一 ㊟

令和8年度岩村田高等学校同窓会一般会計予算書(案)

収入総額 4,533,178円 支出総額 4,533,178円 差引残額 0円  
 自 令和8年4月1日～至 令和9年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 中沢 朝幸

【収入】				
項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越	621,178	321,114	300,064	
R8年度生入会金	2,020,000	1,980,000	40,000	10,000円×202名分(卒業時に、残金4,000円を集金予定)
R6年度入学生卒業時納入金	792,000	792,000	0	4,000円×198名分(現3年生に、残金を集金)
同窓会活動協力金	1,100,000	1,200,000	-100,000	同窓会員より協力金(予想)
預金利息	0	0	0	普通預金利息
雑収入	0	0	0	名簿売上他
計	4,533,178	4,293,114	240,064	
【支出】				
項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
事業費	1,000,000	1,000,000	0	第55回同窓生作品展、コピー機代、同窓会館電話代、クラブ奨励金、卒業証書ホルダー、徳育会他
広報費	2,600,000	2,500,000	100,000	第57号同窓会報印刷代、発送代他
総会費	100,000	100,000	0	講師謝礼他
役員会費	250,000	250,000	0	役員会補助
支部補助費	150,000	150,000	0	東都岩高会他 補助
旅費	40,000	70,000	-30,000	支部へ出張等
通信費	40,000	40,000	0	諸通知葉書代、電報、切手代
事務費	5,000	5,000	0	事務用品購入代
慶弔費	40,000	10,000	30,000	香典、弔電、生花、祝儀他
渉外費	40,000	60,000	-20,000	歓送迎会寸志、饞別、支部会への役員参加費他
積立金	0	250,000	-250,000	積立会計へ
クラブ振興費	100,000	100,000	0	クラブ活動後援会へ
教育研修費	40,000	40,000	0	教育研修補助金
短期海外交流支援費	100,000	100,000	0	
雑費	5,000	5,000	0	事務手数料
予備費	23,178	43,448	-20,270	岩高会館維持費等
計	4,533,178	4,723,448	190,270	

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長相談の上、一任させていただきます。

### 公立高校としての誇り

女子バスケットボール班顧問 山浦 翔

令和7年度の高校総体で、本校の女子バスケットボール班は県大会で3位になり、4年ぶりに北信越大会に出場することができた。長野県に限らず、バスケットボールでは私立高校が上位を占めることがほとんどで過去10年間、公立高校で北信越大会に出場したチームは、数少ない。昨年度は私が赴任して3年目の年であり、一緒に岩高に来た生徒が最終学年の年に、このような結果を残せたことは非常に感慨深いものであった。しかし私が赴任してからの3年間は順風満帆なものでもなく、公立高校だからこそその苦勞もあつた。

まず本校の女子バスケットボール班は人数が少ない。3学年合わせて15人ほどいれば多い年であり、昨年度は3学年合わせて11人であった。普通科のみの公立高校なので、バスケットボールをするために入学した生徒は微々たるものである。私立と異なりメンバーがいらないのだ。赴任してからの1年目は人数が特に少なく、何とか入班してくれた

1年生を続けさせることに最も注力していた。施設も整っているわけではなく、体育館は狭いため全面を確保しないと正規のコートでの練習はできない。

そのような環境下で北信越大会に出場できたのはなぜか。それは私立に負けないという強い意志があつたからだと感じる。私が本校に生徒として在学しているときから現在まで、長くチームを指揮している外部コーチの金子先生もよくその話を生徒にしている。限られたメンバー・環境の中でも、強い意志とそれに付随した質の高い練習を継続できれば、相応の結果が出るのだと、昨年度身をもって感じた。苦しい練習でも途中で投げ出さず、「最後」までやりきるのがある。この「最後」までというところが重要なところだ。バスケットボールは攻守の切り替えが激しく、どこかで気を抜くと相手に一気に流れが傾いてしまう。調子の良いときだけ頑張るのではな



く、どんな時でも「最後」まで継続できることが勝敗を分けるのだ。これはスポーツに限らず、進路実現などの勝負をしなくてはいけない場面では同じなのではないだろうか。高校生活は何をしていてもたつたの3年間で終わってしまう。この3年間で何に全力をかけて、何を得たのか、それを実感できた高校生活が送れるよう、今後も生徒を指導していきたい。

最後にありますが、いつも岩村田高校女子バスケットボール班を応援いただきありがとうございます。今後も、公立高校としての誇りを持って活動して参りますのでよろしくお願いたします。

### 令和7年度卒業生進路結果について

進路指導主事 羽田 和幸

令和7年度の卒業生の高校生活は、コロナの5類移行とすることで普通の生活を過ごせるようになり、学校行事もこれまで通りの形で実施されることが多くなりました。そうはいってもまだ感染者もあり、またインフルエンザが流行するなど、「感染症と生きる時代」を実践する日々でありました。若さの柔軟さゆえか、そんな中でも工夫を凝らし、高校生活を充実させていたように思います。

入試関係では新教育課程での入試2年目として、大学入学共通テストが難化をする心配がありました。本校では前年度の問題をベースにした傾向と対策的な問題集用意し、授業中、放課後補習、直前の特編授業において、学校としてできる試験対策は取ることができたと思います。本校からは昨年同様全体の80%を超える生徒が共通テストに出席しました。苦戦した生徒も少なくはありませんがそれぞれに自分の持てる力を発揮してくれたと思います。最終的な進路状況ですが、卒業生196名中、4年制大学進学者142名(72%)、短期大学進学者2名(1%)、専門学校進学者25名(13%)就職者が3名(2%)、などとなつていきます。4年制国公立大学の合格者は33名(内進学者30名)でした。国立大学のなかでは岩高の進路指導上の大きなターゲットである信州大学に5名合格し、国立全体では12名の合格で、例年並みによく健闘したと言えると思います。また公立大学においては長野県立大学に3名、長野大学に11名、長野県看護大学に1名、公立諏訪東京理科大学に2名、と例年以上に多くの県内大学への合格者を出しました。

私立大学に目を向けると、昨年あたりからある程度、中堅以上の大学の合格が増えてきている感があり、青山学院大学の一般入試で合格者を出しています。また、一浪生たちからも吉報が届き、慶応義塾大学や国立大学に合格するなど1年間の粘り強い努力の積み重ねが結果につながったのだと思います。近年顕著な医療系の学部学科への進学希望は変わらず今年度も高く、経済的に不安定な時代には資格取得、手に職、といった傾向が顕著だと感じます。総合型選抜や学校推薦型に代表される年内入試の動きは本校でも注目しているところであり、倍率が上昇している難関私大への指導を現在模索しております。昨年度は面接指導において専属的に練習をするプロジェクトチームを職員団で作成し、指導を通して面接内容の深まりを感じることができました。一方で簡単に合格を出す大学も実際にあり、安易な進学指導にならないことを肝に銘じ、生徒一人ひとりと向き合っています。本校では3年間の地道な積み重ねと、粘り強い努力、あきらめない気持ちで各自の進路希望実現につながっています。現3年生は様々な面で積極的に一歩を踏み出す指導を掲げており、どのような結果が出てくるか楽しみなところです。同窓会の皆様方には、さまざまな場面でのご支援をお願いすることがあるかと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

入試年別合格状況 (2026・R8年4月現在)

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
区 分						
国公立大学	33	1	32		33	3
私立大学	250	7	213	7	293	19
公立短大			3			
私立短大	2		8		8	
所管外大学校			1			
専門学校・各種学校	26	1	25		21	

国公立大学の合格先 (過去3年間)

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
北見工業大					1	
山形大	1					
茨城大			1			
群馬大	3		5		3	
埼玉大						1
東京学芸大			1			
新潟大	1		1		1	
上越教育大			1		1	
富山大	1	1	1		1	
信州大	5	1	4		4	
静岡大			2		1	
広島大	1					
公立函館未来大					1	
釧路公立大	1				1	
群馬県立女子大					1	
前橋工科大					1	
高崎経済大			1			2
東京都立大					1	
神奈川県立保健福祉大					1	
三条市立大			1			
長岡造形大			1		1	
新潟県立大	1				1	
都留文化大	1		2		2	
長野県立大	3		3		4	
長野大	11		5		3	
長野県看護大	1		2		2	
公立諏訪東京理科大	2		1		2	
奈良県立大	1					

所管外大学校の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
国立看護大学校			1			

主な私立大学の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
国際医療福祉大			2		1	
高崎健康福祉大	15		6		5	2
群馬医療福祉大	2		3		2	
群馬パース大	3		10		3	
埼玉工業大			2		1	
獨協大	3				4	

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
文教大	9		4		12	
神田外語大	1		1			
千葉工業大	7		3		3	
青山学院大	4		1		2	3
慶應義塾大		1				1
亜細亜大			1		5	
桜美林大	5		3		1	
北里大			2		1	1
杏林大	7		1		5	
國學院大					1	
国士館大	2		2		2	
駒澤大	4		2	2	5	
駒沢女子大	2				1	
順天堂大	2				2	
芝浦工業大	1					
昭和女子大					1	
成蹊大			2			
専修大	4		6		10	1
大東文化大	7		7		15	
拓殖大	3				3	
玉川大	5		1		1	
多摩美術大	2					
中央大	1				1	
津田塾大	4					
東京女子大	2					
帝京大	8		1		9	
東海大	7		15		22	
東京家政大	2				5	
東京工科大	3		2		8	
東京学芸大			1		2	
東京経済大	1		2	2	3	
東京造形大	1					
東京電機大			1		1	
東京農業大	1		1		3	1
東洋大	8		4		3	3
日本大	4		8	1	13	
日本体育大					1	
法政大			1	1	6	2
武蔵野大	1	2				
武蔵野美術大	1					
明治大		1				
明治学院大	3	1	4		5	
明星大	12				2	
立教大	1					2
麻布大					1	
神奈川大	5		5		4	
神奈川工科大	4		4		10	
関東学院大	5		2		7	
新潟医療福祉大	1		3			
金澤学院大	3		1		1	
金澤工業大	14		7		7	
山梨学院大	1		5			

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
長野保健医療大	1		3		1	
清泉大	8		4		2	
佐久大	5		5		2	2
松本大	4		1		3	
名古屋外国語大			3			
京都産業大			1			
立命館大	1		3		2	
龍谷大	2		1		1	
関西大			1			
近畿大	2		5		5	
奈良大	1				2	
その他	45		60		76	

公立短大の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
大月短期大			3			

私立短大の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
新島学園短期大					1	
育英短期大					1	
帝京短期大	1					
埼玉女子短期大			1		1	
目白大学短期大					1	
新渡戸文化短期大			1			
上田短期大					2	
清泉大短期大					1	
長野短期大	1					
共立女子短期大					1	
その他			6			

所管外短期大学校の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
長野県工科短期大学校	1					
国立清水海士技術短期大学校			1			

専門学校・各種学校の合格先

入試年	2026年		2025年		2024年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
須坂看護専門	2					
厚生連佐久総合病院看護専門	2		2		1	
諏訪赤十字看護専門	1					
松本看護専門	1					
上田情報ビジネス専門			1		1	
長野医療衛生専門					1	
長野美容美容専門	1					
大原スポーツ公務員専門	1				1	
東京都立南多摩看護専門					1	
その他	16		19		15	

令和7年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『運動班』

種	目	高校総体予選等(東信)	高校総体予選等(県大会)	高校総体予選等(北信越以上)
バスケット	男子	4位	1回戦敗退	
	女子	優勝	3位 北信越大会出場	1回戦敗退
バレーボール	男子	5位	予選敗退	
	女子	2位	ベスト16	
剣道	男子	団体	5位	予選敗退
		個人	なし	
	女子	団体	4位	予選敗退
		個人	なし	
弓道	男子	団体	4位	予選敗退
		個人	1位・4位・5位	予選敗退
	女子	団体	敗退	
		個人	敗退	
ソフトテニス	男子	団体	優勝	3位 北信越大会出場
		個人	優勝	準優勝 インターハイ出場
	女子	団体	9位敗退	
		個人	ベスト8 県大会へ	初戦敗退
硬式テニス	男子	団体	4位 県大会へ	初戦敗退
		シングルス	5位 県大会へ	初戦敗退
		ダブルス	3位 県大会へ	初戦敗退
	女子	団体	5位敗退	
		シングルス	1名8位 県大会へ	1回戦敗退
		ダブルス	1ペア5位 県大会へ	1回戦敗退
バドミントン	男子	団体	5位 県大会へ	1回戦 駒ヶ根工業 1-3敗退
		シングルス		
		ダブルス	ベスト8 1ペア	
	女子	団体	5位 県大会へ	1回戦 松本深志 0-3敗退
		シングルス	1名ベスト8 県大会へ	1回戦敗退
		ダブルス		
卓球	男子	団体	6位 県大会へ	1回戦敗退
		シングルス	1名ベスト16 県大会へ	1回戦敗退
		ダブルス		
	女子	団体		
		シングルス		
		ダブルス		
陸上	男子	県大会へ	北信越大会へ	やり投げ吉田光15位 砲丸投げ日向龍仁23位
	女子	県大会へ	予選敗退	
水泳	男子	50m自由形須山權 2位 100m自由形須山權 2位	予選敗退	
	女子	100mバタフライ 美齊津希愛 1位	100mバタフライ 美齊津希愛 4位	予選敗退
サッカー		2回戦敗退		
野球		長野県高校野球選手権大会 4回戦敗退		



高校部活動の現状とこれから  
運動部長 町田 愛衣

令和7年度の高校運動部活動は、社会の変化の中で新たな課題と向き合っている。中学校の部活動が地域移行する流れの中で、運動部への加入

じられるようになってきた。一方で、弓道やバドミントンなど高校から新たに始めることができる生徒が関心を示し、加入率も比較的高い傾向が見られる。経験の有無に関わらず挑戦できる環境が、生徒に

とって魅力になっているのかもしれない。部活動に対する生徒の意識は多様化しており、競技志向の生徒もいれば、楽しみながら活動したいと考える生徒もいる。そうした中で、顧問としてはそれぞれの思いを受け

止めながら、どのように活動を支えていくか悩む場面も多い。それでも、高校時代に何かに目標を持って取り組む経験は、生徒にとって大きな意味を持つものだと感じている。仲間と励まし合いながら努力を重ね、成功や悔しさを経験

することは、人として成長する大切な機会となる。これからも生徒たちが意欲的に取り組める環境を大切にしながら、部活動の在り方を考えていきたい。

令和7年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『文化班』

班名	活動記録
美術	第39回 小山敬三記念公募展 3-1 由井胡桃美 2-5 小林奏心 新人賞受賞 第79回 佐久美術展 3-5 佐藤沙耶 白井鈴 2-2 緒方春乃 2-5 小林奏心 新人賞受賞 第77回 長野県美術展(県展) 3-1 樋田若菜 ジュニア準大賞 3-5 白井鈴 2-2 緒方春乃 2-5 藤原志穂 第47回 長野県高等学校美術展 2-2 緒方春乃 篠原優歌 2-5 笠原慈 三石るな 1-3 猿谷果音 出品 ※緒方春乃は来年度行われる第50回全国総文祭あきた大会に選抜
演劇	文化祭公演 (7.5,6) 第31回 高校演劇サマーフェスティバル (8.27 @シアター 1010) 第42回 東信地区高校演劇連盟合同発表会 (9.14 @上田市文化会館) 佐久のハーモニー演劇祭出演 (12.6,7 @佐久創造館) 令和7年度東信地区高等学校演劇連盟春季合同発表会 (3.22 @岩村田高校多目的室)
吹奏楽	東信合同音楽会 (5.31 @東御市文化会館) 第47回 定期演奏会 (6.1 @佐久平交流センター) 第62回 岩高祭定期公演 (7.5,6 《2日開催》 @第一体育館) 長野県吹奏楽コンクールB部門長野県大会 (3位金賞 8.9 @ホクト文化ホール) まるごとつながるフェスタ佐久平出演 (9.13 @佐久ミレニアムパーク) 千曲錦酒造 秋の大感謝祭出演 (10.11 @千曲錦酒造) ミマキ秋の大感謝祭出演 (10.18 @ミマキ (東御市)) 佐久大学文化祭ステージ出演 (10.26 @佐久大学) 第51回 長野県アンサンブルコンテスト東信地区大会 (金賞 12.21 @丸子文化会館) 第51回 長野県アンサンブルコンテスト長野県大会 (銀賞 1.18 @ホクト文化ホール) 第24回 中部日本個人・重奏コンテスト長野県大会 (銀賞 1.24 @ホクト文化ホール) その他各種学校行事等で演奏
茶道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火曜日同窓会館にてお稽古 (お茶室の障子の張替えを行う)</li> <li>・毎月2回程度 家元教授宅にてお稽古</li> <li>・文化祭一般公開でお点前披露 (浴衣の着付けを学ぶ)</li> <li>・中学生体験入学でお点前披露</li> </ul>
囲碁・将棋	県高文連主催 長野県高等学校将棋選手権大会 (5月17日(土) 松本市勤労者福祉センター) 個人Bの部：柳澤土琉 (22位) 中島吉貴 (33位) 週3～4回程放課後活動
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外ゴミ拾い (月2回)</li> <li>・文化祭 (展示発表、佐久コスモス福祉会の一口カステラ・クッキー販売)</li> <li>・プランター花植え・管理 7月～9月 (社会福祉協議会事業)</li> <li>・その他 各種ボランティア活動参加 (佐久バルーンフェスティバル、小諸祇園祭・花市、「福祉の仕事PRコンテスト2025」学生審査員など)</li> </ul>
文芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 班誌「新入生歓迎号」発行</li> <li>・7月 文化祭にて班誌「文化祭号」発行</li> <li>・10月 班誌「3年生引退号」発行</li> <li>・12月 班誌「クリスマス号」発行</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日に、大講義室に於いて活動</li> <li>・英語文化に親しむ観点から、洋画の鑑賞、英語でクロスワードパズル、ALTの母国のカナダの生活について知る、カナダの食文化体験 (調理室を借りてカナダのお菓子やケーキを実際に作って試食する)、洋楽を聞いてみる、など。英語に親しむ活動を行う。国語・英語研究室前廊下の掲示板に関連掲示あり。</li> </ul>
生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日を中心に放課後生物教室、畑 (理科棟北側) にて活動。</li> <li>・文化祭 (展示発表→①飼育動物、②昨年度のポスター発表、③ウラジロモミのアロマオイル製作等)</li> <li>・定期的に軽井沢の野鳥観察、スズメの個体数調査</li> <li>・8月：慶應義塾大学先端生命科学研究所にて研修 (顧問の不幸で中止となる)</li> <li>・12月：理系探究型学習研修会参加 (野沢北高校にて)</li> </ul>
書道同好会	全体では月・火曜日、書道室にて活動 (水～金は作品作り等自主的活動)。文化祭の一般公開では書道室にて書道作品の展示会 (土日)、日曜日は第二体育館にて書道パフォーマンスを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第51回 ふれあい書道展 (小泉希花 奨励賞・曾我桂奈 奨励賞・樋口冴香 特選・村上七海 敢闘賞)</li> <li>・第30回記念長野県現代書藝全国展 出展 (曾我桂奈 奨励賞・樋口冴香 推薦・村上七海 特選)</li> <li>・第41回 長野県高等学校書道展 (曾我桂奈・村上七海 出品)</li> <li>・第14回 佐久全国臨書展 全員出品</li> </ul>



私が岩村田高校に赴任したのが5年前。理科の生物が専門の教師である私は「オッ！生物班？」と、その時思った。というのは、理科部、科学部、地学部は比較的目的にするが生物部(班)という名前はあま

オッ！生物班？

文化部長 花岡 秀樹

岩村田高校の生物班は、放課後生物教室に集まってきた班員達が、グループ毎に分れて探究活動を行うのが基本となつてい。その探究のテーマは、軽井沢等の野鳥観察、佐久地域のため池等に生息する稀少な魚の調査、農業を使わない農業の追求、外来植物の有効利用としてセイタカアワダチソウを使用した染色等、生徒達の興味関心に合わせたものとなつてい。もちろん、顧問のアドバイスを頂きながら、年に何回かある発表の場でプレゼンテーションをする。こともあるが、その活動の根底にあるのは、「自分の好きなものをとことん極めたい。」という生徒達のモチベーションだ。

学校の探究の時間も使つてプレゼンをまとめた生徒も多く、一つの探究活動をやり抜いた自信が、自己の進路実現に発展していった例も少なくない。このように運動部のような上下関係があまり無く、自分の好きな活動を目一杯行える生物部という環境を、存続させることが我々の使命と

考える。



校歌練習

# かんごさん

作 田中しょう (高25回)



校長	奥原 靖彦	松本深志
副校長	渡辺 友基	蘇南
理事	三澤 達矢	丸子修学館・野沢南
数 学	黒澤 章裕	上田染谷丘
理 科	堀田 拓海	新規
英 語	保科 大栄	上田千曲
事務	杉田 暁夫	軽井沢
事務	若林 繁	千曲川流域下水道事務所
校 長	下島 浩伸	上田
国 語	相澤 慶弥	阿南
数 学	中村 俊輔	諏訪双葉
理 科	岡本 竜一	松本工業
英 語	花岡 秀樹	上田東
事務	森山 裕	野沢南
事務	小山 哲也	松本農業農村支援センター

## 今年着任された先生方

## ご退職・ご転出の先生方

ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会の車いすカーリング混合ダブルスに、日本代表の選手として出場してきました。

パラリンピック出場を目標に競技を楽しみながら続けていたのですが、新種目を機にチームメイトとともに2021年から取り組み始めて、2023年の国内選考会を経て、十数年ぶりに世界選手権へ出場し2024年の成績は4位でした。この時に、この種目であればパラリンピックも狙えるかも?と思いき、翌シーズンには海外



佐久市役所へ出場報告に訪問

## ミラノ・コルティナパラリンピックを終えて

中島 洋治 (高34回)

遠征も実施して国内合宿にも取り組んで強化をはかり、国内選考でも連覇し、2025年の世界選手権に臨みました。

この時点でのポイントは開催国のイタリアを除いて7か国の枠争いで日本は9位。大会が始まるとパラリンピックポイントで競っているチーム(国)も好成績を収めていて、ブロック予選から準々決勝とトーナメント進出してもなお準決勝が終わるまで出場枠が取れない厳しい状況で、毎試合が緊張の連続でした。

終わってみれば、世界選手権を優勝してポイント5位。めでたく出場枠を確保しました。

バンクーバー大会以来、16年ぶりのパラリンピック出場内定を早々に決めてからの約1年間がとて

も早く、また長く感じた1年でもありました。

ミラノ・コルティナパラリンピックの選手村は仮設のプレハブにトレーラーハウス。競技会場周辺も工事中と、イタリア規格なのでしょいか。でも、それが意外と心地よく過ごすことが出来ました。パラリンピックは特別な場所、目標でもあり夢の場所でもありました。最高の舞台でプレーできたことに喜びを感じています。

皆さんから沢山の応援をいただき、ありがとうございました。



御代田町役場に掲げられた懸垂幕

## みすゞ文芸

### 俳壇

神津 武士 (旧中16回)

- 亀鳴くを待つ人みんな大詩人
- 乳房にふれし骨つばややぬくし
- 除夜の鐘つけばぐらりと時うごく

佐藤 勝子 (高15回)

- 靴ひもはカナリヤ色や草萌ゆる
- 一山のマイナスイオン新樹光
- 唐辛子干されてよりの色深む

木内利一郎 (高18回)

- レタス畑実習生の手の速し
- 春昼や老舗喫茶のナポリタン
- 老桜の伐られし空の広きかな

## 個人情報の変更についてのお願い

諸事情(改姓・転居・物故者連絡など)による個人情報の変更がありましたら、正確を期すため、下記の連絡内容をご記入いただき、

①郵便 ②FAX ③メールのいずれかでお願ひします。

(電話での連絡はお受けできません。)

①郵便 〒385-10022 長野県佐久市岩村田1248-1 岩村田高等学校同窓会事務局

②FAX 0267-1781-3798 岩村田高等学校同窓会事務局あて

③メール gankotosokai@gmail.com

〈連絡内容〉

①連絡者の氏名・卒業年(大正・昭和・平成)、クラス

②新姓・在学時姓名・郵便番号・現住所・電話番号

③物故者の連絡内容

④連絡者の氏名、続柄(家族・役員・同級生・友人)

⑤連絡者の郵便番号、住所、電話番号

⑥物故者の新姓、在学時の姓名、物故者の卒業年(不明な場合は住所・生年月日など)

⑦逝去年月日

※連絡内容に不備がある場合は、生存者のままとさせていただきます。